

1. 2023 四日市市立図書館ワークショップ開催計画

ワークショップの位置づけ・考え方等

【目的】

- 本ワークショップは、過年度に実施されたワークショップで得られた図書館の使い方等の意見を踏まえ、新図書館に望ましい空間や使い方等の市民意見を把握するために実施する。
- 図書館のソフト面につながるような使い方を主眼とし、図書館の空間構成外に位置する店舗等(例:カフェ等)に関する意見収集は収集対象外とする。

【対象】

- 対象者層は「市民一般」「高校生」「子育て世帯」の3層とする。

ワークショップ概要

項目	内容
名称	2023 四日市市新図書館ワークショップ
実施目的	新図書館に望ましい空間・使い方等の市民意見を把握する
開催期日・回数	2023年7月17日(月・祝)～11/23(木・祝日) 全6回
開催時間	各回90分を想定
対象	市民一般/中高生/子育て世帯(各2回)を対象に公募
人数	上限 市民一般対象回:30名 それ以外:各回20名
抽選方法	定員を超えた場合は抽選

各回日時等

回	対象	日時	時間	会場
第1回	市民一般	7/17(月・祝)	17:00-18:30	四日市市文化会館
第2回	高校生	8/10(木)	14:00-15:30	市立図書館 2F 視聴覚ホール
第3回	子育て世帯※	9/12(火)	14:00-15:30	四日市市文化会館
第4回	子育て世帯※	10/28(土)	10:00-11:30	四日市市文化会館
第5回	高校生	10/28(土)	14:00-15:30	市立図書館 2F 視聴覚ホール
第6回	市民一般	11/23(木・祝)	14:00-15:30	四日市市文化会館

※託児サービス有 網掛けの日程は仮

2. 第1回四日市市立図書館ワークショップ開催概要と結果概要

2-1 開催概要

概要(抜粋)

項目	内容
開催日時	2023年7月17日(月・祝) 17:00~18:30(90分)
対象	市民一般
人数	30名(6人グループ×5島)
抽選方法	定員を超過した場合、無作為抽出
主たるワーク内容	<ul style="list-style-type: none">- 断面図A,Bの2案(A3で1枚にまとめる)を準備 ＜ソロワーク＞- 提示したフロア案をもとに、各案の良い点、改善点を付箋で指摘 ＜グループワーク＞- 用意した模造紙(A,B案印字済み)に、ソロワークで考えた付箋をグループで討議しながら貼付 ※矛盾した意見等が出て市民意見として排除しない。多様な意見を得ることを主目的とする。A,B案の勝敗を決めるのではなく、両案の「良いところ」を目的

配布資料(抜粋)

資料名	内容
1. 次第	-
2. 中心市街地拠点施設整備について	<ul style="list-style-type: none">- これまでの検討経緯および基本計画「①滞在型図書館」諸室一覧- 参考資料として平米イメージ表も付記
3. これまで寄せられたご意見(抜粋)	<ul style="list-style-type: none">- 過年度WSの結果から、過ごし方の希望を抽出- 立地・交通事情、運営体制、駐車場、ジム・カフェ等の商業店舗等についてはまとめの対象外
4. 先進事例	参考となる国内の図書館例を5館ほど提示 <ul style="list-style-type: none">- コーニング/育児/趣味/仕事等と「滞在」に関する視点からピックアップ- 石川県立図書館/海南ノビノス/京都大学附属図書館ラーニング・コモンズ/豊橋まちなか図書館/札幌市図書・情報館等を候補- PPTで作成し、会場でワーク中に投影
5. 断面図(A,B案)	<ul style="list-style-type: none">- 根拠・コンセプト等を説明できるよう準備- ソロワーク用、グループワーク用に用意
6. リアクションペーパー	<ul style="list-style-type: none">- プリント配布もしくはQRコードでアンケートフォームに誘導(選択は参加者の任意)

2-2 結果概要

① 参加者構成

- 当日の出席者は26名(欠席者4名)
- 30代から70代まで
- 男性 11 名、女性 15 名

② 寄せられたご意見等

- 参加者はグループでの話し合いをもとに、断面図 A 案、B 案の良い点・改善点に関する意見を付箋に記し、A1 判の紙に貼付した。最終的には 1 グループ 2～3 分程度で発表を行った。下表は付箋の摘要となる。
- 合意形成は主たる目的とせずアイデア出しを主眼としたため、吹抜けの有無等、異なる意見もみられる。

寄せられたご意見(抜粋)

内 容			
グループ①			
A 案		B 案	
良い点	改善点	良い点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ◆ ティーンズのフロアを分けること ◆ A 案に吹抜があるのにぎわいが見える 	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 下の階に子ども関係子育て関係のフロアをというのは良いと思います ◆ 児童室はなるだけ下階へ 	—
グループ②			
A 案		B 案	
良い点	改善点	良い点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ◆ ティーンズを A・B に分ける ◆ ボランティアさんスペースがあるのはいいと思いました 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ティーンズが分かれるのはどうでしょうか？ ◆ 地域・郷土は観光・情報と一体化して、設置を ◆ 大人も学習スペースがほしいです 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ バリアフリー資料も近いところがいい ◆ 小さいお子さんは下のフロアがよいと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域・郷土が大人向けで高層との認識は、おかしい。夏休み中の地域・郷土は、子どもでいっぱい ◆ 外国語図書は文学と近く、外国籍の方も多くみえるので、特別でない方がいいと思います
グループ③			
A 案		◆ B 案	
良い点	改善点	良い点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ◆ ティーンズが静と動とわかれている ◆ 子どもむけのスペースが用途によってわかれている ◆ グループ学習室ティーンズ A は下の階にあると若い人が利用しやすい ◆ 企画展示がある ◆ 吹抜がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習室(一般)学習室(学生)作って下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ティーンズ(ライトノベル等)は、児童のフロアに近い所にあってほしい ◆ 下に近い(地上に近い)ところに児童スペースがある ◆ 子どものフロアは、下の階でにぎやかな方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 吹抜けがほしい ◆ 撮影スタジオがある ◆ 勉強できるスペースほしい ◆ 託児スペースがあると嬉しいけどむずかしいのかな…

グループ④

A 案		B 案	
良い点	改善点	良い点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 芸術（アート系）がある ◆ 音楽・スポーツ・娯楽のコーナーが低層にあるのが良い ◆ 音楽・スポーツ・娯楽を取り入れリラックスする雰囲気を用意している ◆ 企画展示→美術館、博物館代わりになる ◆ 吹抜でつなぐ開放感 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 芸術（アート系）は低層階を希望（4Fなど） ◆ ティーンズは個人利用でも動のフロアが良いのでは ◆ バリアフリー資料は低層フロアでは？ ◆ 4Fは大人も利用する方多いのでは。6F4Fの間に子どもの本が来ることで利用を遠慮してしまうおそれがある ◆ 雑誌は気軽に読めるフロアにもほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国語図書のコーナーがあるのが良い ◆ 一般図書は同じフロアにまとめる ◆ 児童・子育てフロアは独立・低層階 ◆ 児童フロアが独立しているのがありがたい ◆ 交流機能があるのが良い ◆ 1Fは民間利用くらい。（スタバ、マクドナルド） ◆ 子どもとくる家族の導線として、車いす利用者の導線として、出入りがしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国語図書のコーナーをあえて、一般図書の階と別にする必要はあるのか？ ◆ 子どもを連れて一般コーナーには行きにくい ◆ 絵本の階と一般図書の階は別々ではない方が良い。（成人の方が絵本コーナーに行きにくい。） ◆ 外国語図書3Fで案内強調できるとよい（あることを知らない人も出てきそう）

グループ⑤

A 案		B 案	
良い点	改善点	良い点	改善点
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 吹き抜けの開放的な雰囲気◎B案にもぜひ ◆ 若者を意識しているところ ◆ 交流機能を連動させてるところ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 吹抜はいらない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 5Fに「よみもの」がまとまるとうれしい 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お話コーナーを真ん中に ◆ 一般⇔子育て⇔一般 ◆ 吹抜の是非 ◆ 子育て世代の使い勝手→エスカレーター、EV

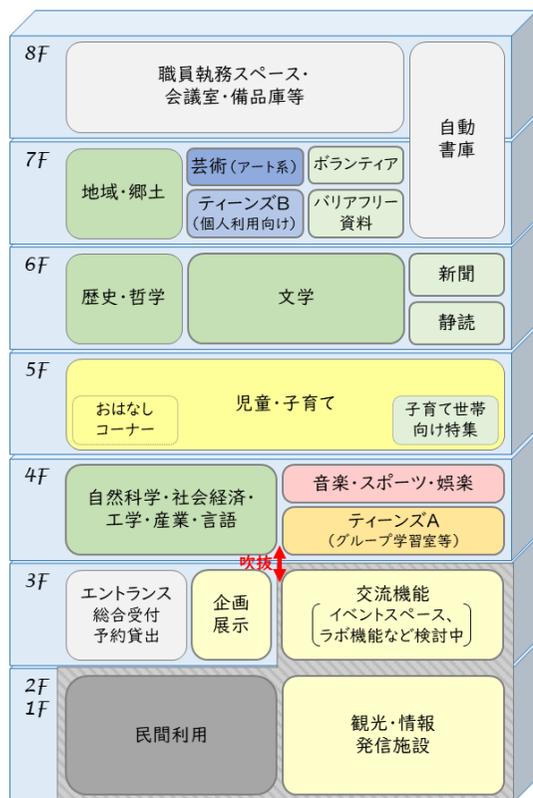
③ 当日の様子



【付録】

A 案

- ☆全体として下から上に向かって、動(賑やか)→静(穏やか)になっていく流れとし、ティーンズエリアも、静(個人向け)と動(グループ向け)に分けて配置。
- ☆下層階の賑わい連鎖を重視し、3-4階は吹抜けてつなぐ構成。
- ☆4~7階の各フロアに蔵書につながるミニ展示コーナーを設置。



- 【7階】利用者共用フロアの最上階に、個人学習向けのスペースを確保。地域・郷土資料やアート系図書も目にふれやすいラウンジ的な空間とすることで、シビックプライドの醸成や情操の涵養に寄与することをねらう。
 - 【6階】落ち着いた読み物に触れるフロア。静読用の閲覧席を多めに配置。
 - 【5階】児童書のフロア→一定の音を許容する前提。子どもを見守りながら保護者が読めるものとして子育て世帯向けに発刊されている図書(育児関係、進学案内、ファミリー向けお出かけ情報誌等)も配架。
 - 【4階】音を許容するフロアと位置づけ、グループ学習室を配置。⇒グループ学習の素材となり得る、学習要素を含むジャンルの図書を配架。また、アクティブな趣味・趣向のジャンルの図書を配架。
- ※3階の活動・イベントの賑わいが4階にも伝わるよう、3-4階を吹抜けてつなぐ。
- 【3階】館全体の入口となる総合受付と併せて、予約本の受取コーナーを設置。また、その時々世間の話題に関連する書籍・資料等の特集した企画展示を展開。

B 案

- ☆基本的には下層階から上に向かって、動(賑やか)→静(穏やか)になっていく流れであり、かつ、子ども→ティーンズ→成人という成長の流れに沿った展開。
- ☆有事の避難弱者(乳幼児・障害者)が利用するフロアをなるべく低層階に配置。
- ☆4~7階の各フロアに蔵書につながるミニ展示コーナーを設置



- 【7階】地域資料や郷土作家コーナー、外国語図書など、利用目的が比較的明確に絞られる資料を上層階に配置。
- 【6階】他のフロアに属さない一般図書を配架。
- 【5階】ティーンズ向けのエリアとしてグループ学習室等を配置。ライトノベルから本格小説まで「読み物」をまとめて配架する考え方。(中高生も小説を、大人もライトノベルを気軽に手に取れるようにという配慮) 落ち着いた読書出来る閲覧席も多めに確保。障害者サービス(点字資料・録音資料・大活字本・対面朗読室等)はなるべく低層階にと配慮。
- 【4階】児童書のフロア→一定の音を許容する前提。子どもを見守りながら保護者が読めるものとして子育て世帯向けに発刊されている図書(育児関係、進学案内、ファミリー向けお出かけ情報誌等)も配架。ベビーカー利用などがあることも踏まえ、有事の際に避難しやすいよう、低層階に配置。
- 【3階】館全体の入口となる総合受付と併せて、予約本の受取コーナーを設置。また、メーカースペースの設置も検討。